

令和3年度(2021年度) 熊本市難病対策地域協議会 議事概要

日時 令和4年3月18日(金)午後7時～午後8時30分  
場所 ウェルパルクまもと(熊本市総合保健福祉センター)  
3階 会議室(熊本市中央区大江5丁目1番1号)  
出席者 柊中会長、井委員、有働委員、中村繁良委員、遠藤委員、坂本委員、大内委員、  
中村淳美委員、藏座委員、岩石委員、福富委員、手島委員、吉田委員、吉村委員  
事務局 医療政策課(的場課長、馬場主幹、福原参事、清原主任技師、前田主任技師、  
高木主任技師)  
新型コロナウイルス感染症対策課 迫田副課長  
警防部救急課 古閑課長

議事

- (1) 熊本市指定難病患者の現状と熊本市の取組について
- (2) 熊本市新型コロナウイルス感染症および災害時の対応について
  - ・アンケート調査結果の概要
  - ・「新型コロナウイルス感染症オミクロン株への対応について」  
熊本市新型コロナウイルス感染症対策課
  - ・意見交換 (資料1及び資料2に関する質疑応答)

【主なご意見等】

- ・医療相談・講演会、支援者のための研修会等、直接この会議に出席しているメンバー、関係機関にも紹介いただくと、従事者の末端までPRできると思うので、是非協力したい。(熊本県介護支援員協会)
- ・平成30年度の熊本県から熊本市の業務委託時から、難病支援について様々な形で連携し合い事業を実施し、発展させてきた。今後ともよろしくお願ひしたい。(熊本県難病相談・支援センター)
- ・具体的な事例を通しながら、今後も連携していきたい。(職業安定所)
- ・難病患者にとって研修や会議を実施する時、対面かWEBなのか迷うので、基準があれば教えてほしい。(患者会) → リスクレベルがひとつの参考になる。
- ・医療相談会・講演会の内容についても関係してくるが、難病として多い疾患や治療法が進んだ疾患等の啓発が必要。(熊本市医師会)

- 患者、家族がコロナに感染した場合の対応、濃厚接触者の対応等、看護協会がDVDを作っているため、参考にさせていただきたい。（熊本県看護協会）
- コロナ対策について、患者の立場と事業所の（管理者として）職員の立場との間で悩む。日頃の関係機関との連携、関係づくりがとても役に立った。（熊本県ヘルパー協会）
- 呼吸器をつけた患者の介護者がコロナに感染した。呼吸器をつけた濃厚接触者の患者は、しばらくして入院できたが、そういう場合も、家庭訪問する支援者の連携がとても必要と感じた。 災害の場合も同じ。（難病コーディネーター）
- 関係機関の連携はとても大事。それをもとにコロナや災害時のフローチャート作成が必要だと思う。（熊本市難病地域対策次年度計画）
- 医療政策課では、災害訓練のひとつとして、人工呼吸器をつけた患者のシュミレーションを次年度に向けて、計画している。